

# 木部

公共仕様No.  
DNT-新設・4-1-01

## 18章4節:合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) タイコーペイントフォースター

### 使用材料一覧表

| 規格<br>一般名称                      | 商品名            | ホルムアルデヒド<br>放散等級 | 希釈剤     |
|---------------------------------|----------------|------------------|---------|
| 1 JASS 18 M-304<br>木部下塗り用調合ペイント | タイコーペイント下塗     | F☆☆☆☆            | 塗料用シンナー |
| 2 JIS K 5516 1種<br>合成樹脂調合ペイント   | タイコーペイントフォースター | F☆☆☆☆            | 塗料用シンナー |

### 塗装仕様

表18.2.1 木部の素地ごしらえ【A種】

| 工程         | 塗料その他         |              |      | 面の処理                          |
|------------|---------------|--------------|------|-------------------------------|
|            | 規格番号          | 規格名称         | 種類   |                               |
| 1 汚れ、付着物除去 | -             |              |      | 木部を傷つけないように除去し、油類は、溶剤等でふき取る。  |
| 2 やに処理     | -             |              |      | やには、削り取り又は電気ごて焼きのうえ、溶剤等でふき取る。 |
| 3 研磨紙ざり    | 研磨紙P120~220   |              |      | かなな目、逆目、けば等を研磨する。             |
| 4 節止め      | JASS 18 M-304 | 木部下塗り用調合ペイント | 合成樹脂 | 節及びその周囲にはけ塗りを行う。              |
|            | セラックニス        |              |      |                               |
| 5 穴埋め      | JIS K 5669    | 合成樹脂エマルジョンパテ | 耐水形  | 割れ、穴、隙間、くぼみ等に充填する。            |
| 6 研磨紙ざり    | 研磨紙P120~220   |              |      | 穴埋め乾燥後、全面を平らに研磨する。            |

(注) 1.ラワン、しおじ等導管の深いもの場合は、必要に応じて、工程2ののちに塗料製造所の指定する目止め処理を行う。  
2.合成樹脂エマルジョンパテは、外部に用いない。  
3.JASS 18 M-304は、日本建築学会材料規格である。  
4.工程4 節止めにおいて、JASS18 M-304は合成樹脂調合ペイント及び水性系ペイントに適用し、それ以外は塗料製造所の指定するセラックニスとする。

表18.4.1 木部合成樹脂調合ペイント塗り【A種】

| 工程             | 商品名                | 色相 | 混合比率<br>(重量比) | 希釈率(%)<br>(重量比) | 塗装方法       | 塗付け量<br>(kg/m <sup>2</sup> /回) | 塗装間隔<br>(20℃)   |
|----------------|--------------------|----|---------------|-----------------|------------|--------------------------------|-----------------|
| 1 下塗り<br>(1回目) | タイコーペイント<br>下塗     | 白  | -             | 5~10            | 刷毛         | 0.09                           | 12時間以上<br>1ヶ月以内 |
|                |                    |    |               | 10~20           | スプレー       |                                |                 |
| 2 下塗り<br>(2回目) | タイコーペイント<br>下塗     | 白  | -             | 5~10            | 刷毛         | 0.09                           | 12時間以上<br>1ヶ月以内 |
|                |                    |    |               | 10~20           | スプレー       |                                |                 |
| 3 中塗り          | タイコーペイント<br>フォースター | 各色 | -             | 5~10            | 刷毛<br>ローラー | 0.09                           | 16時間以上<br>1ヶ月以内 |
|                |                    |    |               | 5~15            | スプレー       |                                |                 |
| 4 上塗り          | タイコーペイント<br>フォースター | 各色 | -             | 5~10            | 刷毛<br>ローラー | 0.08                           | -               |
|                |                    |    |               | 5~15            | スプレー       |                                |                 |

(注) 1.下塗りは、塗料を素地によくまじませるように塗る。木口部分は、特に丁寧に行う。  
2.JASS 18 M-304は、日本建築学会材料規格である。

### 18.2.2 木部の素地ごしらえ

- (a)木部の素地ごしらえは表18.2.1により、種別は特記による。特記がなければ、不透明塗料塗りの場合はA種、透明塗料塗りの場合はB種とする。  
(b)透明塗料塗りの素地ごしらえは、必要に応じて、表18.2.1の工程を行ったのち、次の工程を行う。  
(1)着色顔料を用いて着色兼目止めをする場合は、はけ、へら等を用いて、着色顔料が塗面の木目に十分充填するように塗り付け、へら、乾いた布等で、色が均一になるように余分な顔料をきれいにふき取る。  
(2)着色剤を用いて着色する場合は、はけ等で色むらの出ないように塗り、塗り面の状態を見計らい、乾いた布でふき取って、色が均一になるようにする。  
(3)素地面に、仕上げに支障のおそれがある甚だしい色むら、汚れ、変色等がある場合は、漂白剤等を用いて修正したのち、水ぶき等により漂白剤を除去し、十分乾燥させる。

### 18.4.3 木部合成樹脂調合ペイント塗り

木部合成樹脂調合ペイント塗りは、表18.4.1により、種別は特記による。特記がなければ、屋外はA種、屋内はB種とする。ただし、多孔質広葉樹の場合を除く。

### 注意事項

- \* 上記塗付け量は国土交通省、公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成25年版に掲載されている数値です。そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。
- \* 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。